



市民の手で市民活動を支える

特定非営利活動法人

宝塚NPOセンター

通信
No.70

2012.3

わたしとNPO

特定非営利活動法人
コウノトリ豊岡・
いのちのネットワーク
副理事長

山本 進



～人と人が強い絆で結ばれ、人とすべての生きものが共生し、すべての「いのち」が輝く地域づくりを目指す～「コウノトリ豊岡・いのちのネットワーク」は、この3月にNPO法人として認証されました。

長い教員生活を終える時に発生した東日本大震災。今できることは何だろうと自問し、有志に呼びかけ昨年6月に結成しました。以来、多くの市民や団体・企業からの支援、兵庫県地域づくり活動支援市町モデル事業の助成を受け、「いのちを支え、つながる各種のプロジェクト」を行っています。

□ 大震災復興支援プロジェクト

小・中・高校生と行うボランティア活動



8月末、3泊4日で、小・中・高校生14名を含む24名で宮城県(七ヶ浜、石巻、女川)を訪れました。七ヶ浜町では仮設住宅で歌手穂穂えりなミニライブ、清掃作業、写真洗い作業等を行いました。

参加した生徒達は被災地の惨状に絶句していましたが、ライブで感動し涙をうかべた被災者が「何もかも失ったが、コウノトリのように必ず東北はよみがえりますよ」と力強く話されたことなどを体験新聞にまとめ、学校や地域で配布したり、各種の大会で発表したりしました。また1年目の3月11日には豊岡駅前でその新聞を配り、義援金を呼びかけました。今年も8月に2回目のボランティアを実施します。

□ いのちの宅配便

8月から「コウノトリ豊岡が届けるいのちの宅配

便」を月1回行っています。これはコウノトリと共生する郷・豊岡の自慢の野菜やお米を被災地に送り、元気になってもらおうとする取り組みです。これまでに農家から提供された野菜63ケース、お米350kgを送りました。24年度も継続します。

□ ひきこもりを支えるプロジェクト 「ドーナツの会」

ひきこもりの若者、親、地域をつなぐ輪をめざす会です。ひきこもりは学校を卒業すると相談場所がなくなるため、社会的なひきこもりになってしまう悲しい現実があり、本人だけでなく保護者も苦しみ、悩んでいます。そのため、寄り添い、相談に乗り、心安らぐ居場所を提供し、自立を支援する活動を11月から開始し、多くの相談を受けています。

□ 食農教育支援プロジェクト お料理の会

コウノトリと共生する環境をつくり、地元の安全安心な農作物による健康な食生活を推奨するための食農教育支援プロジェクトです。次世代を育てる若い母親(ママの会)と一般(ごはんの会)を対象に、楽しく料理を作り、暮らしを見つめ、食農を考え、料理力アップを目指します。地元産の“コウノトリ育む米”や旬の野菜や魚を使って、美味しい料理を作っています。

□ シンポジウム・ライブ・但馬冬鍋



1月29日、230名が参加する各プロジェクトの発表・意見交換を行い、穂穂えりなライブ、地元産イノシシ・シカ・野菜の但馬冬鍋で盛り上がりました。

□ 「いのちの学校」

24年度は新たにコウノトリと共生する環境づくりプロジェクト「いのちの学校」を始めます。

なお、宝塚NPOセンターには、法人の申請等々で格別のご支援をいただいています。

事業報告

ふるさとコミュニティ・ビジネス (CB) 創出支援事業

本事業は、「ふるさと雇用再生特別交付金」による2009年4月から開始した但馬地域におけるCB創出支援事業で本年3月末をもって終了することとなりました。

本年度は豊岡市出石町で「まちづくり意見交換会」「女性たちのまちづくり交流会」等々を開催しました。各々の団体の問題



点として、若い世代の参加が少ないということ、これは、豊岡だけの問題ではなく、どこでも共通の課題です。今後NPO法人化に向けて団体内部で話を進めたい、認定NPOについて知りたいなど、但馬地区におけるCBはこれからも盛りだくさんです。

9月にはCBインターンによる「NPO法人バイカモ楽農会」が誕生し、新温泉町で梅花藻を守る環境保全活動を行っています。また、これまでの従事者それぞれも本事業は大変役に立ち、技能の蓄積に繋がったと4月以降は起業を考えています。



兵庫県委託事業

ひょうごアドプト推進業務

河川や道路などの公共のエリアを、地域の皆さんが自分の子どものように受け入れてお世話をいただく「ひょうごアドプト」、本年度も28団体の活発な活動が大きく効果をあげ、地域の美化が進むとともに、住民に安らぎを与えています。



ゆずり葉の森では、「櫻守の会」が実施している「親子で森づくり体験」が10年100回をむかえ、1月と2月に記念植樹を行いました。このように、それぞれの団体が長年に亘って活動を続けています。



その一方で、本事業においても活動メンバーさんたちの高齢化が課題になっています。



「まちづくりに参加したいが、なかなか一歩を踏み出せない！」と思っている方、一度参加してみませんか！

兵庫県委託事業

NPO等カフェ運営事業・人材育成事業

「但馬 de 元気カフェ」は本年度4回開催しました。



1月20日の4回目のカフェにも40名の参加者があり、鳥取市の学生バンク田中玄洋氏から、学生を地域のボランティアに引き込んでいる事例を紹介、参加者も浜坂での可能性を感じた模様。その後のワールドカフェは大変な盛り上がりで暖房を止めるほどの熱気、これから新温泉町で何が起きるか楽しみです。

「非営利組織の地域づくりカアップ講座」は、10月に豊岡市で開催、1月28、29日には朝来市で開催。



「2日連側でガツンと力をつけませんか？」という講座です。朝来市は早くから地域自治協議会が組織化されており、地域の担い手がたくさんおられ、多様な非営利組織の皆さまにご参加いただきました。ワークショップでニーズの掘り起こし等が体験できたことが次の事業を考える上で参考になるものと思います。

兵庫県委託事業

阪神・淡路大震災追悼・防災啓発行事



阪神・淡路大震災から17年、そして、千年に一度と言われる3.11巨大地震。これらのできごとを風化させないために、1月

12日、宝塚市西公民館でシンポジウムを開催。基調講演は俳優でもあり認定NPO法人「1.17希望の灯り」代表でもある堀内正美さん、自身も被災者であり、阪神淡路大震災により、人間のやさしさと思いやりがいかに大切であるか、みんなで支えあった体験を今後に生かすことが体験者の役割であると話されました。パネリストの皆さんもそれぞれ3.11支援活動をされていますが、原点は阪神大震災にあると語られました。



1月17日には追悼行事「1.17祈りのともしび」を開催。キャンドル点灯・記帳、そして5時46分



には黙祷を捧げました。

宝塚市委託事業

事業報告

宝塚市若者就労支援事業



若者就労支援講座の修了式を1月22日宝塚市男女共同参画センターエルにて行いました。この講座は宝塚市在住の若者（15歳～35歳）を対象に就労に向かう為の講座として昨年の5月にスタートしました。就労支援セミナー、実習前トレーニング、職場体験実習と長期間にわたり実施してきました。

修了式では受講生のみなさんに講座を受講しての感想などを発表していただきました。自分が考えたこと、変わったところ、職場体験実習を経験することで身につけることができたことなど、働くことや自分のこれからをしっかりと考えていることが伝わりました。話す内容は勿論のこと姿勢、話し方や表情も開講当初に比べ大きく成長しました。さらに社会の一員として仕事をしていくことの意欲、自分なりの目標を見つけていきたいという前向きな気持ちも伝わってきました。受講生達は今回の講座を経て社会への新たな一歩を踏み出しています。



宝塚市委託事業

まちかど子育て相談員養成講座企画・実施

昨年9月7日から11月16日まで全13回に亘る講座を実施し、43名の「まちかど子育て相談員」が誕生しました。受講後には、「相手の話をよく聞くようになった」「効果的に話ができるようになった」「自分の意見をはさんでいたことを反省」「やさしくなれた」などとの感想が寄せられました。



講座終了後も同窓会として勉強会を月1回実施、その中でグループ化を図り4月1日付けで任意団体「子育て支援「まちかどすみれ」」が発足することとなりました。既に個人ベースでは活動を始めています。



その他、既に起業された方や、子育て関係の仕事につかれた方もおり、これまでの仕事を続けておられる方も含め、皆さん何らかの活動をしています。この講座を運営してきた我々スタッフにとっても、多くのことを学べた講座でした。

兵庫県委託事業

2011年度認証された宝塚市内 NPO 法人

2012年度は宝塚市内で8NPO法人が誕生しました。当センターでサポートしたのは下記の6法人です。

阪神エリアのNPO法人数

	11年3月	12年2月
全国	42,386	44,576
兵庫県	1,612	1,709
尼崎市	83	96
西宮市	128	138
芦屋市	40	47
伊丹市	38	47
宝塚市	77	85
川西市	33	38
三田市	33	36
猪名川町	8	9
阪神地区 合計	440	496

NPO 法人名	事業内容
らぼーる	高齢者の居宅介護サービス事業と介護予防サービス事業並びに障害者の地域生活支援事業、助け合い事業など
もっと素敵に宝塚	異業種間の交流支援、未婚・晩婚化・少子化対策啓発・調査研究事業、子育て支援事業など
エコ・レボリューション	地球にやさしいECO製品の普及事業 環境問題啓発事業、地域環境の調査研究事業、情報発信事業など
ケティーハウス	高齢者の居宅介護サービス事業と介護予防サービス事業及び障害者自立支援法に基づく地域生活支援事業、子育て支援事業など
ともにいきる宝塚	国籍、民族、文化、言語などのちがいを認めあい、共に豊かにいきることのできる多文化共生の事業
TAKARAZUKA 都市活性プロジェクト	宝塚市民及び宝塚を訪れる観光客に対して、地域コミュニティ形成事業、ペットとの共生事業及び人材育成と雇用創出事業など

2012年度 宝塚市若者就労支援事業のお知らせ

2011年度に引き続き、2012年度も「職場体験付き若者就労支援プログラム」を実施します。就労未経験、人との交流が苦手、長期離職/フリーターなど、就労に課題を抱える若者（概ね15～39歳）が仕事の現場を体験し、**進路選択・求職活動**に役立てていただくプログラムです。

■プログラムの流れ

オリエンテーション

6月下旬

就労支援セミナー

7月～9月

実習前トレーニング

10月

職場体験実習

10月下旬～1月下旬

プログラム期間全体を通して「ジョブコーディネーター」による個別相談・サポートを行います。まずはお気軽にお問い合わせください。日程のご都合が合わない場合もご相談ください。

(連絡先：0797-85-7766 担当：田中)

2012年通常総会 日程のお知らせ

恒例の通常総会を下記日程にて開催いたします。正会員の皆さまには後日案内状をお送りいたします。

■日時：2012年5月20日（日）13:00～

■場所：宝塚市立男女共同参画センター4階（1-A・B）

今回は趣向を凝らした総会にしたいと考えておりますので、何かとご多忙な時期かとは存じますが、是非日程に入れておいていただきますようお願い申し上げます。



会員募集・継続のお願い

皆様の会費や寄付は活動資金として、ボランティアとして提供される知識や技術は活動の活力となっています。どうぞ一緒に会員としてNPO・NGOを支える活動にご参加くださいますようお願い申し上げます。

[正会員]個人会員 10,000円/団体会員（NPO・市民活動団体）10,000円/法人会員30,000円/[準会員] 3,000円

銀行振込：三菱東京UFJ銀行 阪急宝塚出張所 普通預金3629422口座名義 特・宝塚NPOセンター

郵便振替：口座番号 00930-8-77117 口座名義 宝塚NPOセンター 郵便振替用紙をご利用下さい

ご支援ありがとうございます（順不同、敬称略 期間：2011.9.24～12.15）

新たに入会された皆さん 【準会員】野尻亜希子、NPO法人夢舞台いながわ

寄付をいただいた皆さん NPO法人夢舞台いながわ、LLCみらい、鶴丸悌二、吹巻幸雄



会員の皆さまへ！

先般は「宝塚NPOセンター改善についてのアンケート」調査にご協力いただき、心よりお礼申し上げます。29人、32団体（合計61）から貴重なご意見をいただきました。お問い合わせやご依頼事項に關しましては、それぞれ個別に回答させていただきました。皆さまからのご意見の中には、嬉しいお声もありましたが、耳の痛いお声もあり、反省するとともに来年度以降の活動に活かしていきたいと思っております。

今後とも、ひきつづき宝塚NPOセンターを支えていただきますようお願い申し上げます。

毎年この時期になると花粉症に悩まされる人が多いようですが、当センターも事務局長以下苦しんでいるスタッフがいます。早く家に帰って十分な睡眠を取るのが一番なのでしょうが、...でも、残念ながら、今は期末の一番忙しい時期、残業中もくしゃみの合唱。何か有効な花粉症対策がありましたら教えてください。（T.K）

特定非営利活動法人 宝塚NPOセンター

〒665-0845

宝塚市栄町 2-1-1 ソリオ 1-3F

Tel 0797-85-7766

Fax 専用 0797-85-7799

利用時間 9:00～18:00

休館日 日・祝日・年末年始

Email zukanpo@hnpo.net

URL http://hnpo.net

生きがいしごとサポートセンター阪神北

Tel 0797-87-4350

Fax 専用 0797-87-7799

Email cdc@hnpo.net

URL http://cdc.hnpo.net